大学･高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F123210106463	改組内容	研究科等の設置（特例枠）
大学名	名古屋市立大学	設置区分	公立	事業計画名	名古屋市立大学大学院データサイエンス研究科設置拡充計画
学校種	大学	都道府県	愛知		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度			令和5年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①4～10月　データサイエンス研究科修士課程設置のための事前相談書類作成及び申請 ②11～2月　データサイエンス研究科修士課程設置のためのニーズ調査実施 ③12～3月　データサイエンス研究科修士課程設置　認可申請書類もしくは届出申請書類作成 ④3月　（事前相談で認可申請可とされた場合）認可申請書類提出 ⑤4～3月　新棟建設(初年度)の実施（基本設計）	①データサイエンス研究科修士課程設置に向けて、事前相談書類を作成し、文部科学省あてに申請した。 ②データサイエンス研究科修士課程設置に向けて、ニーズ調査を実施した。 ③データサイエンス研究科修士課程設置に向けて、届出申請書類を作成している。 ④令和6年4月にデータサイエンス研究科修士課程を設置するために、届出書類を提出する予定である。 ⑤新棟建設(初年度)にかかる基本設計を本学施設企画課と実施した。	事業計画で挙げている①～⑤の取組事項について、対応しているため。	
令和6年度	4月　データサイエンス研究科（修士課程）設置届出予定		令和6年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①4月　データサイエンス研究科（修士課程）設置届出書提出 ②7月　データサイエンス研究科（修士課程）入学生受入れ準備開始 ③7月　データサイエンス研究科（修士課程）設置届出受理・認可予定 ④7月　データサイエンス研究科（修士課程）入学生向け広報活動開始 ⑤9月　データサイエンス研究科（修士課程）入学試験開始 ⑥4～3月　新棟建設(２年目)の実施（実施設計）	①データサイエンス研究科（修士課程）設置届出書を提出した。 ②データサイエンス研究科（修士課程）入学生受入れ準備を開始した。 ③データサイエンス研究科（修士課程）設置届出を提出し、文部科学省より受理・認可された。 ④データサイエンス研究科（修士課程）入学生向け広報活動を開始した。 ⑤9月に第1回データサイエンス研究科（修士課程）入学試験を実施し、12月に第2回入学試験を実施した。 ⑥全額自己資金にて新棟建設(２年目)を実施した。（実施設計）	事業計画で挙げている①～⑥の取組事項について、対応しているため。	
令和7年度	「データサイエンス研究科修士課程設置（入学定員15名）」 ③4月～10月　データサイエンス研究科博士後期課程設置のための事前相談書類作成及び申請（令和7年12月11日） ⑤12月～3月　データサイエンス研究科博士後期課程設置　認可申請書類もしくは届出申請書類作成（令和7年12月11日） ⑥3月　（事前相談で認可申請可とされた場合）認可申請書類提出（令和7年12月11日）	「データサイエンス研究科修士課程設置（入学定員15名）」 ③12月　データサイエンス研究科（博士後期課程）設置に係る事前相談を行い、「届出による設置が可能」との結果を得た。 ⑤12月～3月　データサイエンス研究科（博士後期課程）設置認可届出申請書類を作成した。 ⑥3月　（事前相談で認可申請可とされた場合）事前相談で「届出可」とされたため、認可申請書類は提出しなかった。	令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①4月　データサイエンス研究科修士課程設置・運営開始、入学生受入れ開始（令和7年12月11日） ②4月～3月　データサイエンス研究科修士課程　入学生獲得のための広報活動の実施（令和7年12月11日） ④11月～2月　データサイエンス研究科博士後期課程設置のためのニーズ調査実施（令和7年12月11日）	①4月　データサイエンス研究科（修士課程）を設置し、入学生を受け入れ運営を開始した。 ②4月～3月　データサイエンス研究科（修士課程）令和8年度入学生獲得のために広報活動を実施した。 ④11月～2月　データサイエンス研究科（博士後期課程）設置のためのニーズ調査を実施した。		
令和8年度	5月　データサイエンス研究科データサイエンス専攻（修士課程）　収容定員に係る学則変更届出予定		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　（事前相談で届け出申請可とされた場合）データサイエンス研究科（後期博士課程）設置届出書提出 ②5～3月　データサイエンス研究科博士課程（前期・後期）入学生受入れ準備 ③7月　（事前相談で届出設置可とされた場合）届出申請書類受理 ④7月～　（事前相談で届出設置可とされた場合） データサイエンス研究科博士課程（前期・後期）の広報活動の実施 ⑤8月　（事前相談で認可申請可とされた場合）認可 ⑥8～3月　（事前相談で認可申請可とされた場合） データサイエンス研究科博士課程（前期・後期）の広報活動の実施 ⑦4～3月　新棟建設(４年目)の実施（建設工事）			
令和9年度			令和9年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　データサイエンス研究科博士後期課程設置、運営開始・入学生受入れ開始 ②4～3月　データサイエンス研究科博士課程（前期・後期）入学生獲得のための広報活動の実施			
令和10年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　データサイエンス研究科博士後期課程設置、運営開始・入学生受入れ開始 ②4～3月　データサイエンス研究科博士課程（前期・後期）入学生獲得のための広報活動の実施			
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　データサイエンス研究科博士後期課程設置、運営開始・入学生受入れ開始 ②4～3月　データサイエンス研究科博士課程（前期・後期）入学生獲得のための広報活動の実施			
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	名古屋市立大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学

ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

ⅲ）「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学

ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。

⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）

⑨ 機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。

⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑫の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
すべての項目が要件を満たしている												

①～⑫の要件を満たしていない又は対象でない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑬,⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑬,⑭について	現在の状況
⑬文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	名古屋市立大学

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
支援期間中に、設置団体である名古屋市や地元経済団体（中部経済連合会、名古屋商工会議所、等々）、東海地方を特徴づけるモノづくりを中心とした企業と共に次のような連携を行う。 ・上記諸団体・企業と連携したデータサイエンスの研究、教育、イノベーション事業を実施する窓口となるデータサイエンスコンソーシアムの設置 ・学部、大学院でのPBL、データサイエンス実践科目等において、自治体や企業からの講師を受け入れ ・大量のデータを持ちながらもその利活用が遅れている自治体・企業からの相談を受けるマッチングイベントや技術相談会の実施 ・技術相談会に伴う受託研究や共同研究の推進 ・地域産業界におけるデータサイエンス力の高度化を狙い、大学院に社会人定員枠と推薦制度を導入	・全学教養科目として、データサイエンス学部の専任教員及び実務でデータを活用している行政、企業（名古屋市、岡崎市、東邦ガス、アイホン、読売新聞社、あいち銀行等より派遣）を講師とした「データサイエンスへの誘い（全15回・2単位）」を 前・後期で開講した。 ・学部3年生向けの講義「PBL演習3」において、名古屋市、岡崎市、あいち銀行、花王などの自治体・企業と連携し、各機関から提供されたデータを活用した課題解決演習を実施した。 ・学部3年生及び大学院2年生向けの集中講義「実務家特別講義」において、国立病院機構神戸医療センター、トヨタ自動車、アイシン、帝国データバンク等より講師を招聘した。 ・令和7年11月、12月に開催された名古屋市上下水道局や名古屋市総務局が主催する職員研修において、データサイエンス学部の専任教員が講師を務めた。 ・名古屋市が主催する行政課題・地域課題解決に繋がる新たな研究力強化の取り組みとした「共創まちづくり研究推進事業」の公募において、データサイエンス学部教員から5件の研究課題が採択された。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
設置団体が名古屋市であることから、名古屋市教育委員会との連携をこれまでに十数年の長きに亘って行ってきた。こうした他に類を見ない連携に基づき、次のような計画を立てている。 （1） 今年度より実施している市立高等学校における情報やデータサイエンス教育についての意見交換会を、令和7年度には初等中等教育現場の教員との情報交換会に発展させる。(2) 現時点で既存研究科が既に実施している研究室訪問に加え、夏季休暇中の数日間に研究室において講義や初歩的なデータ解析を行うサマースクールを実施し、小・中・高校生にデータサイエンス研究に触れる機会を設ける。(3) 大学院生をTAとして、小・中・高校生それぞれを対象とした情報処理入門、データサイエンス入門などのワークショップを実施する。(4) 初等中等教育現場のDX化、データサイエンスリテラシー向上に資するための小・中・高校教員のリスキリングの機会を提供する。	・(1)について。令和5年7月に名古屋市立名東高等学校にて情報系講義の授業参観並びに情報系の先生を交えた意見交換会を実施し、高等学校における情報科目の新しいカリキュラム内容とそれを踏まえての大学側の初年次データサイエンス教育の在り方について情報交換を行った。令和7年度においては情報交換会は実施しなかった。 ・(2)について。名古屋市立の高等学校と大学との間で実施している「グレイド・スキップチャレンジ」にデータサイエンス学部からも講師を派遣し、市立高校の生徒たちにデータサイエンス関連の課題を与え、成果を発表するサポートを行った。 ・(3)について。大学院生をTAとした小・中・高校生をそれぞれを対象としたワークショップは実施しなかった。 ・(4)について。名古屋市立中学校におけるキャリア教育プログラムの開発及び実施のため講師を派遣。	・これまでの様々な連携・交流企画を継続・定着させ、さらなる展開を目指すことが重要と考えている。その具体的な進め方や展開については引き続き検討していく。

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
女子学生のロールモデルとなるように、実務家教員の採用に際して１名以上の女性教員を採用し、女子学生のキャリア支援に際してメンターとしての役割を担う。また、優秀な女子学生を確保するために、夏季休暇中に女子中高生向けの「女子中高生夏の学校」を開催する。なお大学院入試における女子枠、奨学金制度、授業料免除などについても今後検討していく。 社会人については、社会人推薦枠を設ける。また、先述のデータサイエンスコンソーシアムの講習会等を通じて積極的な広報を行う。 留学生については、コンタクトポイントを設置している海外６大学におけるオンライン説明会の実施、英語のみで履修可能な科目の設置による学位取得環境の整備を行う。また優秀な留学生を確保するために、データサイエンス分野での国費優先配置プログラムを申請する。さらに、自己資金で実施しているRA制度や優先配置プログラムを受講する私費留学生への奨学金の充実、民間奨学金の積極的な紹介に取り組む。	・女子学生の確保に向け、専任教員において既存の2名の女性教員に加え、令和7年4月にさらに1名の女性教員を採用した。なお、令和7年度においては女子学生4名、令和8年度においては女子学生8名の入学が決定している。 ・社会人学生の確保に向け、令和7年4月に開設した大学院においては、昼夜開講制や長期履修制度、推薦制度を設けた入試等、社会人が働きながら入学・修了できる制度を実施している。なお届出にあたって要望書を頂戴した各企業、諸団体を中心に積極的な広報活動を行うべく、パンフレット作成、説明会を実施した。さらに、令和8年度から「職業訓練給付金制度」対象講座の指定を受けるために申請をして承認された。これにより本課程修了者の社会人学生は最大10万円の助成金を申請することができる。なお、令和7年度においては社会人学生10名、令和8年度においては社会人学生7名の入学が決定している。 ・留学生の確保に向け、データサイエンス研究科webサイトの英語版ページを整備した。なお、令和7年度においては留学生2名、令和8年度においては留学生8名の入学が決定している。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学の海外連携校のうち、データサイエンス学部・研究科を設置している大学（タイ・プリンスオブソンクラー大学、ドイツ・ルートビッヒ・ハーフェン大学、イタリア・トリノ工科大学など）との間で、院生のラボインターンないしは交換留学などの教育交流、教員レベルでの客員教授招聘等、共同研究などを予定している。プリンスオブソンクラー大学およびトリノ工科大学とは、修士課程のダブルディグリーの協定を令和7年度までに締結し、支援期間中に大学院生の受入れもしくは派遣を行う。なお今後も海外大学との連携は積極的に展開する。国内的には、本学はデータサイエンス系大学教育組織連絡会（令和5年4月時点11大学）会員校の1つであり、データサイエンスに関わる大学院・学部教育についての情報交流などに積極的に取り組む。 高等専門学校との連携では、高専卒の大学編入生、高専専攻科修了生を対象とする2名程度の推薦枠を計画している。データサイエンス学部完成年度後である令和9年度以降は、高等専門学校から学部への編入制度、大学院への推薦枠の拡大も検討する。	・世界トップレベルの理工系教育研究機関であるインド理科大学院を訪問し、大学間交流協定締結に向けて協議をし、協定締結計画書をとりまとめた。その他、本学を訪問する海外大学のなかに、特にデータサイエンス学部に関心を寄せている大学との意見交換会には積極的に参加し今後の連携可能性を模索している（令和7年5月　中国　山東航空学院など）。また海外の研究機関から1名客員教員を令和7年8月から10月まで招聘した（インド地磁気研究所）。留学生確保に向けた準備として、こうした交流を今後さらに展開する予定である。 ・大学院において高等専門学校専攻科からも推薦を受けられる推薦入試を実施している。	

大学名	名古屋市立大学	改組内容	研究科等の設置（特例枠）

本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－１.博士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	データサイエンス研究科データサイエンス専攻

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定		認可	届出	開設														
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-	-	-	3	3	3												
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	-	-	-	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	-	-	-	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	-	-	-	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	-	-	-	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	-	-	-	-															
		進学者数	人	-	-	-	-															
		その他	人	-	-	-	-															
		進路不明	人	-	-	-	-															
	大学院博士課程	満期退学者数	人	-	-	-	-															
		学位取得者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

大学名	名古屋市立大学	改組内容	研究科等の設置（特例枠）

本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－２.修士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	データサイエンス研究科データサイエンス専攻

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定	届出	開設	届出	増員														
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-	15	15	30	30	30												
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	15	15															
		入学者数	人	-	-	15	19															
		女子学生数	人	-	-	4	8															
		社会人学生数	人	-	-	12	10															
		留学生数	人	-	-	2	8															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	15	15	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	-	-	15	19	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	-	-	4	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	-	-	12	10	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	-	-	2	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	1.00	1.27	-	-	-	-	-			-			-	-			
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	15	30															
		在籍者数(D)	人	-	-	15	34															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	1.00	1.13	-	-	-	-	-			-			-	-			
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-			-	-			
		就職者数	人	-	-	-	-															
		進学者数	人	-	-	-	-															
		その他	人	-	-	-	-															
		進路不明	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	2	2															
		授業科目の単位数	単位	-	-	4	4															

大学名	名古屋市立大学	改組内容	研究科等の設置（特例枠）

２.情報系組織の状況

２－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	12	12	12	12															
		入学者数	人	5	4	8	7															
		女子学生数	人	1	1	4	4															
		社会人学生数	人	3	0	1	3															
		留学生数	人	0	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	2	1	3	3															
		女子学生数	人	2	1	1	1															
		社会人学生数	人	0	1	0	0															
		留学生数	人	3	0	2	2															
	入学者合計	入学定員(A)	人	12	12	12	12	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	7	5	11	10	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	3	2	5	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	3	1	1	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	3	0	2	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.58	0.42	0.92	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	30	32	33	36															
		在籍者数(D)	人	30	31	34	35															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.00	0.97	1.03	0.97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	2	4	6	6															
		就職者数	人	2	3	6	6															
		進学者数	人	0	0	0	0															
		その他	人	0	1	0	0															
		進路不明	人	0	0	0	0															
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0	1	1	1															
		学位取得者数	人	4	4	6	6															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	0	0	18	18															
		授業科目の単位数	単位	0	0	109	109															

大学名	名古屋市立大学	改組内容	研究科等の設置（特例枠）

２.情報系組織の状況

２－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	55	55	70	70															
		入学者数	人	53	55	70	79															
		女子学生数	人	29	33	25	34															
		社会人学生数	人	4	1	13	11															
		留学生数	人	4	1	7	11															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	3	1	4																
		女子学生数	人	1	1	2																
		社会人学生数	人	1	0	0																
		留学生数	人	3	1	4																
	入学者合計	入学定員(A)	人	55	55	70	70	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	56	56	74	79	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	30	34	27	34	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	5	1	13	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	7	2	11	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.02	1.02	1.06	1.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	110	110	125	140															
		在籍者数(D)	人	113	118	129	159															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.03	1.07	1.03	1.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	51	54	51																
		就職者数	人	39	40	38																
		進学者数	人	5	10	7																
		その他	人	7	4	6																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	8	10	20	18															
		授業科目の単位数	単位	50	52	57	161															

大学名	名古屋市立大学	改組内容	研究科等の設置（特例枠）

２.情報系組織の状況

２－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	223	223	226	228															
		入学者数	人	224	228	232	233															
		女子学生数	人	108	113	106	131															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	0	0	0	0															
		女子学生数	人	0	0	0	0															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	0	0															
	入学者合計	入学定員(A)	人	223	223	226	228	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	224	228	232	233	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	108	113	106	131	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.00	1.02	1.03	1.02			-	-		-		-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	652	732	839	900															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	686	758	849	933															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.04	1.01	1.04			-	-		-		-	-			-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	148	127	138																
		就職者数	人	91	64	80																
		進学者数	人	51	56	54																
		その他	人	6	7	4																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	28	27	25	18															
		授業科目の単位数	単位	116	110	103	187															

大学名	名古屋市立大学	改組内容	研究科等の設置（特例枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	149	149	149	154															
		入学者数	人	91	88	100	96															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	13	24	34																
	入学者合計	入学定員（A）	人	149	149	149	154	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	104	112	134	96	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.70	0.75	0.90	0.62			-	-				-				-			
	収容定員等	収容定員（C）	人	389	457	506	562															
		在籍者数（D）	人	389	414	467	503															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.00	0.91	0.92	0.90			-	-				-				-			

３.大学全体の状況

３－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	211	221	236	246															
		入学者数	人	185	176	240	252															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	10	3	7																
	入学者合計	入学定員（A）	人	211	221	236	246	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	195	179	247	252	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.92	0.81	1.05	1.02			-	-				-				-			
	収容定員等	収容定員（C）	人	424	432	457	482															
		在籍者数（D）	人	424	406	458	526															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.00	0.94	1.00	1.09			-	-				-				-			

大学名	名古屋市立大学	改組内容	研究科等の設置（特例枠）

３.大学全体の状況

３－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,025	1,025	1,128	1,130															
		入学者数	人	1,058	1,062	1,148	1,159															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	0	0	0																
	入学者合計	入学定員（A）	人	1,025	1,025	1,128	1,130	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	1,058	1,062	1,148	1,159	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.03	1.04	1.02	1.03			-	-				-			-	-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	3,930	4,099	4,385	4,656															
		編入学定員	人	12	-	0	0															
		在籍者数（D）	人	4,120	4,264	4,563	4,828															
		編入学者数	人	11	-	0																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.04	1.04	1.04															

４.外部資金の状況（全学）

項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
外部資金獲得額	千円	2,839,250	3,210,298	3,045,065																

特記事項

春以外の「その他の学期」の入学定員は設定していないが、入学者はある。